

## 自己評価・外部評価 評価表

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	事業所評価				外部評価				
				実施状況				実施状況				
				できて いる	るほ ぼで きて い	こと が多 い	い ない	全 くで きて い	るほ ぼで きて い	こと が多 い	い ない	全 くで きて い
I 構造評価 (Structure) 【適切な事業運営】												
(1) 理念の明確化												
①	サービスの特徴を踏まえた理念の明確化	1	当該サービスの特徴である「利用者等の在宅生活の継続」と「心身の機能の維持回復」を実現するため、事業所独自の理念を掲げている	2	5					3	6	<ul style="list-style-type: none"> <li>掲げられている場所がわからないので、次に訪問した際には確認します。</li> <li>「心身の機能の維持回復」ということは容易いですが、実際に行動することは難しいと自分でも実感しています。</li> <li>理念は明確になっています。</li> <li>各事業所で考えサービス提供していると思います。</li> <li>その人らしい在宅生活を支えるサービスの提供がされていると思います。</li> <li>定期訪問以外に臨機応変に対応や、気配りをして「その人らしい生活」を支えている。</li> </ul>
①	専門技術の向上のための取り組み	2	管理者と職員は、当該サービスの特徴および事業所の理念について、その内容を十分に認識している	2	5					2	7	<ul style="list-style-type: none"> <li>理念として掲げられていることを職員が理解し、行動することが重要ですね。</li> <li>しっかりと研修されていると思います。</li> <li>認識していると思います。</li> <li>実施状況の事業所の判断から、事業所間で確認されている状況が分からない為。</li> <li>各事業所で考えサービス提供していると思います。</li> </ul>
		3	運営者は、専門技術(アセスメント、随時対応時のオペレーター判断能力など)の向上のため、職員を育成するための具体的な仕組みの構築や、法人内外の研修を受ける機会等を確保している	2	5						9	<ul style="list-style-type: none"> <li>具体的な判断能力向上の研修内容が知りたい。また、それを評価する指標などはあるか。</li> <li>外部研修が受けにくい中、法人内で出来ることをされていると感じます。</li> <li>コロナ禍の為、研修もいつも通りには行かないと思いますが、確保していると思います。</li> <li>運営推進会議の報告から判断。</li> <li>ヘルパー間で工夫して研修を行っていると思います。</li> <li>研修はスキルアップに繋がるのでコロナ禍ですが参加できる時は参加してください。</li> <li>日々の対応から、事業所の特徴や理念を十分に理解していると感じる。</li> <li>事業所内の研修や役割分担等、育成の取り組みはありますか？</li> </ul>

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	事業所評価				外部評価			
				実施状況		事業所コメント	実施状況		外部コメント		
				でき ている	るほ ぼで きて い		でき ない で きて	でき ている		るほ ぼで きて い	でき ない で きて
I 構造評価 (Structure) 【適切な事業運営】											
(2) 適正な人材の育成											
①	専門技術の向上のための取り組み	4	管理者は、サービス提供時の職員の配置等を検討する際、職員の能力が最大限に発揮され、能力開発が促されるよう配慮している	2	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員の負担がかかり過ぎない様可能な限り配慮されている。</li> <li>・小規模事業所であるため皆が同じような援助が出来るようにしている。当日の業務ではお互いがフォローできるように体制を考慮している。</li> <li>・同じ職員が連日訪問となる時もあり偏りはある。</li> </ul>	8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員の負担がかかり過ぎないように、どのような配慮をされていますか。</li> <li>・「能力開発を促す配慮」について、具体的に教えてください。</li> <li>・(事業所の規模にかかわらず)ご利用者への援助 が職員間で統一されていることは大切なことだと思います。</li> <li>・職員の負担とは？件数や移動、ケアの内容のことでしょうか？</li> <li>・皆が同じような援助ができるように工夫していることはあるのでしょうか？</li> <li>・少ない職員の中、皆が同じ援助が出来るように技術を合わせなければいけないので大変だと思いますが、頑張ってください。</li> <li>・訪問援助については、偏りが出ても仕方のない事もあります。体制の考慮もしていると感じます。管理者の負担は大きいと思うので、もっと具体的に役割分担が出来てくると、個々の能力が上がると感じます。</li> </ul>			
②	介護職・看護職間の相互理解を深めるための機会の確保	5	介護職・看護職の間で、利用者等の特性・状況に係る相互の理解・認識の共有のための機会が、十分に確保されている	3	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・フェニックスネットを活用し、日常的な情報共有に加え、緊急時には電話連絡で確認を行っている。</li> <li>・自宅に訪問チェック表を用意し✓を入れることで情報を分かりやすく工夫している利用者もいる。</li> </ul>	2	8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・タブレットへの記載などはできていると思うが、それらが十分な情報共有となっているかは判断できない。</li> <li>・フェニックスネットを上手に活用されていると感じます。</li> <li>・自宅の訪問チェック表とは訪問したら✓をしてもらうというイメージで良いですか？細かいチェック表があるのですか？利用者さんが作っているのですか？</li> <li>・訪問チェック表は皆様に使用してはいないのでしょうか。</li> <li>・タブレットを活用し、情報共有できていると思います。</li> <li>・フェニックスネットの活用を含め、情報を共有する工夫がされているとコメントから判断。</li> <li>・フェニックスネットで共有出来ています。今後も工夫し共有する事で、更にお互いの理解が進むと良いと思います。</li> </ul>		

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	事業所評価				外部評価			
				実施状況				実施状況			
				できて いる	ほぼ できて いる	できて いない が多い	全く できて いない	できて いる	ほぼ できて いる	できて いない が多い	全く できて いない
事業所コメント				外部コメント							
I 構造評価(Structure) [適切な事業運営]											
(2) 適正な人材の育成											
①	組織マネジメントの取り組み	6	利用者等の特性に応じた柔軟なサービスを提供するため、最適且つ柔軟な人材配置(業務・シフトの工夫)を行っている	4	3		<ul style="list-style-type: none"> <li>・同性からの援助希望やその方の生活リズムに合わせた再訪問など可能な限り対応出来ている。</li> <li>・サービスの利用変更等があっても当日職員の中で柔軟な対応が行えていると思う。</li> <li>・職員全員、利用者・ご家族様の情報を共有し援助している。また本人とその家族の要望に対して柔軟に追加訪問や随時訪問を行い対応している。</li> <li>・食事提供時間に職員数が配置出来るように工夫しているため日勤職員の出勤時間は細かく変動してもらことで協力していただいている。</li> </ul>	6		<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員の評価から、事業所全体で利用者の状況に応じたサービス提供に努めていると思います。</li> <li>・本人の体調や気分等を適確に捉え、急にDSを休み家になっている時も柔軟にm対応していただき大変助かっています。</li> <li>・急な変更への対応や希望が集中しやすい時間帯でのケアの提供は大変なこともあるかと思いますが、今後も柔軟な対応をお願いいたします。</li> <li>・職員数が少ないことで利用者負担を掛けることはないですか？5事業所で解決できることは協力してやっていきましょう。</li> <li>・利用者の意向や、予定の変更や突発の追加等、状況に合わせて柔軟に対応していると思います。</li> </ul>	
②	介護・医療連携推進会議で得られた意見等の適切な反映	7	介護・医療連携推進会議を適時適切に開催すると共に、得られた要望、助言等(サービスの過少供給に対する指摘、改善策の提案等)を、サービスの提供等に適切に反映させている			7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会議の開催が適切に出来ていない。</li> </ul>	2	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・できていない理由がわからないとコメントできない。</li> <li>・今の状況では難しいと感じています。</li> <li>・会議開催出来なかった理由はあるのですか？</li> <li>・要因は一つではないと思いますが、本来の会議の目的を達成できるよう、定期的な会議の開催を今後よろしく願いいたします。</li> <li>・コロナ禍もあり、会議の持ち方も工夫が必要と思いますが、適切に開催されることが望ましいと思います。</li> <li>・コロナ禍の中、書面となっています。</li> <li>・適切に開催するよう努めてください。</li> </ul>	

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	事業所評価				外部評価				
				実施状況				実施状況				
				できて いる	ほ ぼ できて い	でき て い ない	全 く でき て い ない	できて いる	ほ ぼ できて い	でき て い ない	全 く でき て い ない	
事業所コメント				外部コメント								
I 構造評価 (Structure) [適切な事業運営]												
(4) 適切な情報提供・共有のための基盤整備												
①	利用者等の状況に係る情報の随時更新・共有のための環境整備	8	利用者等の状況について、(個人情報管理に配慮した上で)必要に応じて関係者間で迅速に共有できるよう工夫されている	4	3					5	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>記録にはそれなりに時間を要するため、なかなか迅速に記録をすることが困難と感じているが、それらを徹底する工夫があれば教えてほしい。</li> <li>タブレットでの共有は大変助かっています。</li> <li>タブレットで情報を随時更新しながら共有出来ていると思います。</li> <li>情報更新後、確認したことがお互いに分かるようなシステムがあるのですか？</li> <li>タブレットで情報共有できています。</li> <li>実施状況や成果が確認できると良いと思います。</li> <li>タブレットは共有するのはとても有効な手段ですね。随時更新されているようなのでとても良いと思います。</li> <li>アセスメント訪問においては情報収集に苦労することが多いです(医療情報など)</li> </ul>
(5) 安全管理の徹底												
①	職員の安全管理	9	サービス提供に係る職員の安全確保や災害時の緊急体制の構築等のため、事業所においてその具体的な対策が講じられている(交通安全、夜間訪問時の防犯対策、災害時対応等)	1	6					1	9	<ul style="list-style-type: none"> <li>当事業所においても夜間訪問時の職員の安全確保や夜間等の出勤職員が少ない時間帯の災害時などについては重要な課題となっています。災害に対して発生直後の落ち着いた行動できるように職員に対して繰り返し研修を行っていくことが大切だと思っています。</li> <li>職員の安全があつてのサービス提供のため、安心して働ける職場、マニュアル作りを徹底していただけるとよい。</li> <li>夜間等の1人での訪問は不安が多いと思います。</li> <li>タブレットでもマニュアルが確認できるのは緊急時にも心強いと思いました。</li> <li>災害訓練も実施されているということですが、事業所コメントにもある「1人で訪問時」の対応の不安点について等、職員間で不安な点や現状の課題を共有し、具体的に課題解決に取り組むことも、安心安全に業務にあたるために、有効ではないでしょうか。</li> <li>講じられていると思います。</li> <li>不安に思っていることは声に出し改善していきましょう</li> <li>夜間は1人で勤務のため不安は大きいですが、他事業所からの応援体制があるのは、いざという時に心強いと思います。</li> <li>災害時は、まず自分の命を優先し、二次災害が起きないようにする事が大切です。</li> <li>交通事情は天候、工事等で変わるので、法問速度だけでなく、安全速度にも注意し、安全運転に努めてください。</li> </ul>
②	利用者等の個人情報の保護	10	事業所において、利用者等に係る個人情報の適切な取り扱いと保護についての具体的な工夫が講じられているとともに、管理者や職員において共有されている	2	5					4	6	<ul style="list-style-type: none"> <li>適宜、監査などを行い、適切に管理できているかを確認し、常に個人情報管理の重要性について意識をもって職務にあたってください。</li> <li>個人情報の保護は難しい問題だと感じています。</li> <li>携帯電話は個人のものを使用していますか。</li> <li>事業所コメントの内容からは、個人情報の取り扱いについて具体的な工夫がされていると感じましたが、「ほぼできていく」が半数以上となつていきますので、改善点があるようでしたら取り組んでいただければと思います。</li> <li>出来ています。</li> <li>事業所の実施状況により判断。</li> <li>個人情報は現在の取り組みのように、引き続き管理の徹底をしてください。</li> </ul>

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	事業所評価				外部評価			
				実施状況				実施状況			
				できている	ほぼできている	できていない	全くできていない	できている	ほぼできている	できていない	全くできていない
II 過程評価(Process)											
1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供											
(1) 利用者等の状況把握及びアセスメントに基づく計画の作成											
①	利用者等の24時間の暮らし全体に着目した、介護・看護両面からのアセスメントの実施	11	利用者等の一日の生活リズムに着目した、アセスメントが提案されている	3	4			2	7		<ul style="list-style-type: none"> <li>なかなか職員が大勢集まるのが難しいと思うが、カンファレンスなどのように工夫して行っているのか教えてほしい。</li> <li>生活のリズムに合わせて訪問して下さり大変助かっています。</li> <li>今後もご利用者様の暮らしに寄り添ったケアの提供をお願いいたします。</li> <li>生活リズムを把握するために、工夫していることはありますか。</li> <li>出来ていると思います。</li> <li>訪問援助をするため、利用者だけでなく世帯を把握する必要もあります。全サービスの中でも自宅内の事を一番把握する訪問介護の専門性が活きる場所だと思います。</li> <li>24時間の生活の把握は登録者全員できていますか？把握するためのツールはありますか？</li> </ul>
		12	介護・看護の両面からのアセスメントが適切に実施され、両者の共有、つき合わせ等が行われている	3	4				7		<ul style="list-style-type: none"> <li>担当者会議の際、月1回看護からアセスメントをしてもらった内容を報告していただき、支援の方向性を検討することができたこともあり、助かっています。</li> <li>できていると思う。</li> <li>いつも助かっています。</li> <li>実施状況や成果が確認出来ると良いと思います。</li> <li>出来ていると思います。</li> <li>月に1回は看護師が訪問しますし、記録にモニタリングされているので把握しやすいと思いました。</li> </ul>
②	利用者の心身の機能の維持回復や在宅生活の継続に軸足を置いた「未来志向型」の計画の作成	13	利用者の心身機能の維持回復に軸足を置いた計画の作成が志向されている						10		<ul style="list-style-type: none"> <li>もちろん回復ができれば何よりだが、現状の維持も自宅においては重要なことだと思うので、本人の状態に合わせた計画立案が必要。</li> <li>心身機能の維持・回復は利用者への加齢と共に難しい問題だと感じています。</li> <li>維持のために何をしていくか、今までに少しプラスをする必要を感じています。</li> <li>職員の皆さんが難しさを感じていることがわかりました。現在の課題について多職種間で共有し検討する機会は設けられていますか。</li> <li>寝たきりの方へのアプローチについて改善策の検討案等はありませんか？</li> <li>出来ていると思います。</li> <li>寝たきりの方へのプランは幅は狭くなるかもしれませんが、一つでも計画してそれが回復する方向に向けたいと思います。</li> <li>寝たきりの方であっても機能維持につながるアプローチは大切なケアです。その他、音楽や写真など反応があるものを見つけたら、家族へのアプローチなど喜んで頂けるものへの取り組みで家にいてよかったとなれば良いのではと思います。共に取り組んでいきましょう。</li> <li>機能維持をすることで回復に繋がるケースもあるので悪化させない事が大事だと思います。</li> <li>機能維持や回復した方も少なからずいます。日常生活継続のため、定期や状況に合わせた支援していると感じます。</li> </ul>

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	事業所評価					外部評価				
				実施状況					実施状況				
				でき ている	る ほ ぼ ど で き て い る	こ と が 多 い な い	い な い で き て	全 く で き て	でき ている	る ほ ぼ ど で き て い る	こ と が 多 い な い	い な い で き て	全 く で き て
II 過程評価(Process)				事業所コメント					外部コメント				
1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供													
(1) 利用者等の状況把握及びアセスメントに基づく計画の作成													
②	利用者の心身の機能の維持回復や在宅生活の継続に軸足を置いた「未来志向型」の計画の作成	14	重度化しても医療依存度を高め過ぎないよう、利用者等の今後の変化を予測し、先を見越した適切なリスク管理を実現するための、「未来志向型」の計画の作成が志向されている		7						9		<ul style="list-style-type: none"> <li>・機能維持をすることで回復に繋がるケースもあるので悪化させない事が大事だと思います。</li> <li>・もちろん回復ができれば何よりだが、現状の維持も自宅においては重要なことだと思うので、本人の状態に合わせた計画立案が必要。</li> <li>・先を見越したリスク管理には褥瘡予防等も入るため、寝たきりの方の体位変換等も大切な所と感じています。その点から考えると十分されていると思います。</li> <li>・先を見越したリスク管理、環境整備、と課題は把握されていると思いますので、どう取り組んでいくか課題を共有しながら今後、具体的な解決策を検討が必要ではないでしょうか。</li> <li>・出来ていると思います。</li> <li>・課題に対して、今後どのように振り返り、取り組まれていくか報告があると良いと思います。</li> <li>・家族様の協力ありきだと思います。お互いに協力しないととても良い支援も出来ないと思います。</li> <li>・最終的にどうしたいかの意志確認を継続しながら現時点のリスク管理を連携していくことと思います。</li> <li>・寝たきりの方は口腔ケアを適切に行うことで吸引せずに経過することも可能</li> <li>・前項目で日常生活の維持は出来ているので、訪問援助の専門家として予後予測の視点は必要です。環境面は整わなくても援助をしなくてはいけぬ事もあるので、そこも含めて説明するよう心掛けてください。</li> </ul>
(2) 利用者等の状況変化への柔軟な対応と計画の見直し													
①	計画上のサービス提供日時に限定されない、必要に応じた柔軟な定期巡回・随時対応サービスの提供	15	計画上のサービス提供日時以外であっても、利用者等の状況に変化が生じた場合は、必要に応じて新たに定期巡回・随時対応サービスの提供日時を設定するなど、柔軟な運営に努めている		7						5	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員の評価から、事業所全体で利用者の状況に応じたサービス提供に努めていると思います。</li> <li>・ご利用者様、ご家族様も柔軟な対応をしてもらえることは、在宅生活を継続していく中で、本当に安心されていることと思います。</li> <li>・実施状況から対応ができてしていると判断。</li> <li>・状況に合わせ柔軟な対応をしていただき助かっています。</li> <li>・状況に合わせた対応は十分出来ています。</li> </ul>
②	継続したモニタリングを通じた利用者等の状況変化の早期把握と、計画への適宜反映	16	サービス提供を通じた、継続的なモニタリングによる、利用者等の状況変化の早期把握と、計画への適宜反映が行われている		4	3					2	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・タブレット以外では情報共有の機会は何の程度確保されていますか。</li> <li>・モニタリングを通して、計画への適宜反映されているケースについて報告があると良いと思います。</li> <li>・モニタリングから個別計画の修正に至ったケースはありますか？</li> </ul>

タイトル番号	タイトル	項目番号	項目	事業所評価				外部評価			
				実施状況				実施状況			
				できている	ほぼできている	できていない	全くできていない	できている	ほぼできている	できていない	全くできていない
II 過程評価(Process)											
1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供											
(3) 介護職・看護職の協働による一体的なサービスの提供											
①	介護職と看護職の相互の専門性を生かした柔軟なサービスの提供	17	より効率的・効果的なサービス提供を実現するため、介護職、看護職のそれぞれの専門性を生かした役割分担が行われている	4	3		・それぞれの専門性を活かし協力しながらサービス提供出来ている。体調変化等は看護職へ連絡し助言をもらっている。 ・傷の悪化・形成についてはタブレットに写真を取り込み確認してもらい助言をもらうこともある。	4	6		・それぞれの専門性を生かしつつ、互いの専門性についても興味をもち、意見しあえるとさらによい。 ・しっかりと協力しながらケアをされていると感じています。 ・柔軟にサービス提供ができていると思います。 ・タブレットなどを活用し連携されているようなのでとても良いと思います。 ・薬や床ずれ等の文章では表現しにくいものを画像で共有出来ているので分かりやすいです。 ・特に状態変化がなくてもお互いに意見交換できるとよい。
②	看護職によるサービス提供に関する指導、助言	18	看護職から介護職に対し、疾病予防・病状の予後予測・心身の機能の維持回復などの観点から、指導、助言が行われている	3	4		・月1回の看護アセスメントでの助言や日々の変化でタブレットを通して医療面の助言・指導がある。 ・タブレットやノート等を活用し情報共有する中でアドバイスを受けている。	3	6		・細かい報告を頂きありがとうございます。 ・出来ていると思います。 ・項目17を活かし、看護の視点を共有出来ていると思います。
10											
①	利用者等に対する当該サービスの趣旨及び特徴等についての十分な情報提供	19	サービスの開始前に、利用者等に本サービスが「利用者の在宅生活の継続」と「心身の機能の維持回復」を実現するためのサービスであり、訪問サービスは、その趣旨に沿って行われるアセスメントに基づき提供されることについて、十分な情報提供・説明が行われている			7	・利用者やご家族様へは契約時に説明を行っているが、中には理解出来ていないと思われる方もいられる。なるべくわかりやすく噛み砕いて説明するように心掛けている。大事なことから開始してから説明させていただいている。 ・「何でもしてくれる」と思われている方には理解いただけるように注意している。	1	6		・当事業所においても、ご利用者やご家族に対しての説明能力向上に努めていくことが必要だと思っています。適宜、適切に理解が得られるまで丁寧に説明していくことが必要だと思っています。 ・今後も、その都度伝わりやすい工夫を継続していただければと思います。 ・特に「ここが伝わりにくい」という点はいくつか絞られていますか。そういった点も情報共有しながら、説明等の方法も今後検討していくと、より改善されていくのではないのでしょうか。 ・契約のみでなく、必要時説明をされていると評価されているため、実施状況から判断。 ・ケースにより“自立支援”を念頭にかかわることも大切です。 ・契約時だけでなく、その都度の説明をしているように思います。 ・分かり易いように説明する事を、今後も継続してください。

タイトル番号	タイトル	項目番号	項目	事業所評価				外部評価			
				実施状況				実施状況			
				できている	ほぼできている	できていない	全くできていない	できている	ほぼできている	できていない	全くできていない
事業所コメント				外部コメント							
II 過程評価(Process)											
1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供											
(4) 利用者等との情報及び意識の共有											
②	利用者等との目標及び計画の共有と、適時適切な情報の提供	20	作成した計画の目標及びその内容について、利用者等々に十分な説明を行うなど、共通の認識を得るための努力がされている		7				6		<ul style="list-style-type: none"> <li>・当事業所においても、ご利用者やご家族に対しての説明能力向上に努めていくが必要だと思っています。適宜、適切に理解が得られるまで丁寧に説明していくことが必要だと思います。</li> <li>・事業所のコメントにもありますが、実施状況が「ほぼ出来ている」となっています。改善すべき点があれば、報告があると良い。</li> <li>・項目19の内容と同様、説明し同意いただいている。その都度疑問点に答えているのであれば「できている」で良いと思います。</li> </ul>
		21	利用者の状況の変化や、それに伴うサービス提供の変化等について、家族等への適時・適切な報告・相談等が行われている	3	4				1	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者個々、世帯に応じて対応出来ているようなので「できている」で良いと思います。</li> </ul>
2. 多職種連携に基づいた包括的・継続的マネジメント											
(1) 共同ケアマネジメントの実践											
①	利用者等の状況の変化についての、ケアマネジャーとの適切な情報共有及びケアプランへの積極的な提案	22	ケアマネジャーとの間で、利用者へのサービス提供状況、心身の機能の変化、周辺環境の変化等に係る情報が共有され、サービスの提供日時等が共同で決められている		7				5		<ul style="list-style-type: none"> <li>・フェニックスネットに繋がってはいませんが、電話やFAX等で、適宜情報共有できている。</li> <li>・現在、課題と感じていることはありませんか。</li> <li>・状況に応じて提案や調整結果の連絡をもらっているのが十分出来ていると思います。</li> </ul>
		23	計画の目標達成のために、必要に応じて、ケアプランへの積極的な提案(地域内のフォーマル・インフォーマルサービスの活用等を含む)が行われている	6	1				6		<ul style="list-style-type: none"> <li>・特に難しさを感じるのどのような点でしょうか。</li> <li>・「本人ご家族が受け入れていただけないケース」について今後どの対応策を教えてください。</li> <li>・サービスの提案はケアマネが中心になりますが、目標に対して、現状と自分達が日頃関わって思う事と、それに対して効果的な目標や内容、出来る事を提案してはいいでしょうか？</li> </ul>



タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	事業所評価					外部評価										
				実施状況					実施状況										
				でき ている	ほ ぼ でき ている	でき が多 い	い ない	全 く でき て い ない	でき ている	ほ ぼ でき ている	でき が多 い	い ない	全 く でき て い ない						
事業所コメント					外部コメント														
II 過程評価(Process)																			
2. 多職種連携に基づいた包括的・継続的マネジメント																			
(1) 共同ケアマネジメントの実践																			
②	定期的なアセスメント結果や目標の達成状況等に関する、多職種への積極的な情報提供	24	サービス担当者会議等の場を通じて、利用者等の状況や計画目標の達成状況について、多職種への情報提供が行われている	1	6								<ul style="list-style-type: none"> <li>・可能な限り会議の場には参加させていただき多職種で情報共有し目標の達成状況等話し合いを行っている。</li> <li>・日々の情報共有はフェニックスネット活用している事業所間ではさらに細かく出来ている。</li> </ul>	8					<ul style="list-style-type: none"> <li>・それぞれの立場から情報を提供しあい、共有できるとよい。</li> <li>・会議にて利用者の状況や課題について発言して頂いている。</li> <li>・出来ていると思います。</li> <li>・担当者会議やフェニックスネットで共有出来ているのであれば、「できている」が良いと思います</li> </ul>
(2) 多職種連携を通じた包括的・継続的マネジメントへの貢献																			
①	利用者の在宅生活の継続に必要な、利用者等に対する包括的なサポートについて、多職種による検討	25	利用者の在宅生活の継続に必要な、包括的なサポート(保険外サービス、インフォーマルケア等の活用を含む)について、必要に応じて多職種による検討が行われている(※任意評価項目)		4								<ul style="list-style-type: none"> <li>・ご家族様が介助出来ない受診の付き添い等は保険外のサービスを利用して行っている。配食サービスやふれあい収集についてはご家族の負担等を考慮し検討している。</li> </ul>	4					<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期巡回は介護保険なので、事業所評価にある保険外サービスや市の事業を知っておくと提案の幅が広がると思います。</li> </ul>
		26	病院・施設への入院・入所、及び病院・施設からの退院・退所の際などに、切れ目のない介護・看護サービスを提供するために、必要に応じて多職種による検討や情報の共有が行われている(※任意評価項目)		3								<ul style="list-style-type: none"> <li>・退院でサービスの利用されるときは情報を多職種で共有し切れ目なくサービスの開始が出来ていると思う。</li> <li>・退院時のカンファレンスへの参加を通して必要な情報を病院からいただくことが出来ている。</li> </ul>	1	4			<ul style="list-style-type: none"> <li>・推進会議の事例からもしっかりとされていると思います。</li> <li>・入院・入所前や退院、新規で退院等、入退院当日の支援が出来るよう準備や情報共有出来ていると思います。</li> </ul>	

タイトル番号	タイトル	項目番号	項目	事業所評価					外部評価				
				実施状況					実施状況				
				できている	ほぼできていない	できていない	全くできていない	事業所コメント	できている	ほぼできていない	できていない	全くできていない	外部コメント
II 過程評価(Process)													
2. 多職種連携に基づいた包括的・継続的マネジメント													
(2) 多職種連携を通じた包括的・継続的マネジメントへの貢献													
②	多職種による効果的な役割分担及び連携に係る検討と、必要に応じた関係者等への積極的な提案	27	地域における利用者の在宅生活の継続に必要な、包括的なサポート体制を構築するため、多職種による効果的な役割分担や連携方策等について検討し、共有がされている (※任意評価項目)		3			・カンファレンスの場やフェニックスネット活用にて多職種による役割分担や連携共有が行えている。		4		訪問系は事業所だけでなく、利用者と隣近所の方をつなぐ役割もあり、連日複数回の訪問がほとんどなので関わる事もあると思います。この辺の情報提供もサポート体制を作るには効果的だと思うので、情報を発信してはいかがでしょうか。	
3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画													
(1) 地域への積極的な情報発信及び提案													
①	介護・医療連携推進会議の記録や、サービスの概要及び効果等の、地域に向けた積極的な情報の発信	28	介護・医療連携推進会議の記録について、誰でも見ることのできるような方法での情報発信が、迅速に行われている			7		・今年度の開催が適切に出来ていない		2	5	・会議が出来ない状況で大変だったことと思います。 ・会議開催後の記録の取り扱いについても、適切な対応をお願いいたします。 ・実施状況から判断。 ・コロナ禍の為、できないのは仕方ないと思います。 ・適切に開催するよう努めてください。	
		29	当該サービスの概要や効果等についての、地域における正しい理解を広めるため、積極的な広報周知が行われている			7		・地域交流の行事が減りそういった場での広報の機会がなくなった。 ・今年度の課題として地域への広報をあげていたが出来ていない。		3	3	・担当地域住民の皆さんに向けた広報活動と共に、居宅介護支援事業所のケアマネの皆さんに当サービスを適切に認識していただく事も必要だと思います。 ・地域交流の場で広報ができにくい昨今、別の方法を模索し広報していけるとよい。他事業所との情報交換などを通して助言を得たらよいのでは。 ・なかなか地域行事もなく参加しにくい状況だと感じています。 ・今後、広報誌の発行予定はありますか。 ・実施状況から判断。 ・地域交流の場の減少から、広報を活用できると良いと思います。 ・書面で、色々情報を頂いています。 ・コロナ禍ということもあり地域との交流がもてなくて困りますね。なかなか難しい問題ですが、別の広報の取り組みが必要になります。 ・適切に開催するよう努めてください。	

タイトル番号	タイトル	項目番号	項目	事業所評価				外部評価					
				実施状況				実施状況					
				できている	ほぼできている	できていない	全くできていない	できている	ほぼできている	できていない	全くできていない		
事業所コメント				外部コメント									
<b>II 過程評価(Process)</b>													
<b>3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画</b>													
<b>(2) 地域包括ケアシステムの構築に向けての、まちづくりへの参画</b>													
①	行政の地域包括ケアシステム構築に係る方針や計画の理解	30	行政が介護保険事業計画等で掲げている、地域包括ケアシステムの構築方針や計画の内容等について十分に理解している		3	4		行政からの方針や計画については理解が十分でない部分もある。 ・4月の研修で長岡市の第8期計画の内容に触れることが出来た。 ・職員間でも理解に差があるため課題である。		2	3		・「職員間での理解の差」が課題とありますが、解決策の検討、実施をお願いいたします。 ・全職員の理解統一は難しいかもしれませんが、周知する場を多く持てると良いと思います。 ・職員間での理解を深めて頂きたい。 ・事業所の計画に反映できると良いですが。 ・ヘルパー間で勉強会的なものが出来れば良い。
②	サービス提供における、地域への展開	31	サービスの提供エリアについて、特定の建物等に限定せず、地域へ広く展開していくことが志向されている	4	3			・地域へ広く展開されている。建物等限定されていることはない。 ・包括ふそきエリアを中心に地域に展開している。		2	4		・ふそきエリアを訪問して頂いているが、中貫や東片貝等のケースについては、空きがない場合は美沢事業所に相談して対応してもらっている。 ・栖吉エリアはなぜ少ないのか知りたい。 ・隣接しているアパートもこまめに援助に入っている。 ・頑張っている。 ・包括ふそき圏域は広範囲ですが、柔軟に提供できていると思います。
③	安心して暮らせるまちづくりに向けた、積極的な課題提起、改善策の提案等	32	当該サービスの提供等を通じて得た情報や知見、多様な関係者とのネットワーク等を活用し、介護・看護の観点から、まちづくりに係る問題認識を広い関係者間で共有し、必要に応じて具体的な課題提起、改善策の提案等(保険外サービスやインフォーマルサービスの開発・活用等)が行われている <b>(※任意評価項目)</b>			7		・ご利用者が住み慣れた地域で生活出来るように支援することをサービスの信念としている。ご利用者を取り巻く地域で課題があれば改善出来るようにしていきたい。 ・地域へこのサービスを知ってもらおうことが不足している。		1	3		・実施状況から判断。判断に至った具体的な内容がわかると良いです。 ・安心して暮らせるまちづくりの一端であることを周知し選択のひとつとしていただけるように発信して頂きたいと思います。 ・訪問系は利用者宅の隣近所ともつながりがあると思いますし、そこから得られる情報もあると思います。隣近所も大切な資源なので、共有や発信をしてはいいかでしょうか。

タイトル番号	タイトル	項目番号	項目	事業所評価				外部評価				
				実施状況				実施状況				
				できている	ほぼできている	できていない	全くできていない	できている	ほぼできている	できていない	全くできていない	
事業所コメント				外部コメント								
Ⅲ 結果評価(Outcome)												
①	サービス導入後の利用者の変化	33	サービスの導入により、利用者ごとの計画目標の達成が図られている	3	4					9	<p>利用者と目標を共有し、達成できるよう今後も取り組んでください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・詳しいモニタリングは大変助かっています。</li> <li>・モニタリング等で、アセスメント等も出来ています。</li> <li>・定期だけでなく、随時状況に応じた対応を調整しているようなので、できていると思います。</li> </ul>	
②	在宅生活の継続に対する安心感	34	サービスの導入により、利用者等において、在宅生活の継続に対する安心感が得られている	2	5					1	8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・皆さんが、よりよいサービスを提供しようと努力している姿が伝わってきます。とても素晴らしいサービスだと思っています。</li> <li>・毎回知った顔のスタッフが来てくれることは、利用者にとって代えがたい安心感だと思います。</li> <li>・家族の介護力が低いケース等相談させてもらうことが多い。環境が整っていなかったり、本人や家族の理解力が低く、援助の際苦労されていることも多くあると思われるが、皆さんの支援があるお陰で施設ではなく、住み慣れた在宅での生活が継続できています。本当にありがたく思っています。今後ともよろしくお願ひします。</li> <li>・コメントにあるように、良い距離間を保ちながら援助に入ってもらえると思います。</li> <li>・安心感はとてもあります。</li> <li>・事業所アンケート等での評価もあと良いと思います。</li> <li>・満足度調査などは実施されていますか？されていないのなら年1回は実施してみたらどうでしょうか？評価の指標になると思います。</li> <li>・ご本人、家族が考える在宅生活を送れる様に考え寄り添って援助されていると思います。</li> <li>・皆さんのがんばりが利用者・ご家族に伝わっていると思います。</li> <li>・24時間、年中無休でサービスを行っているので、「何かあっても大丈夫」と思える事は安心だと思います。</li> </ul> <p>事業所コメントにもあるように、関係性は大切です。サービス内容だけでなく、良い関係を保てるよう、接遇も含めての安心感が作れるよう努めてください。</p>